

オンライン
(Zoomウェビナー)

核兵器禁止条約を力に 核兵器のない世界を実現しよう 被災68年・2022年3・1 ビキニデー

ここの3・1ビキニデーは、核兵器禁止条約第1回締約国会議がおこなわれる特別な年に開かれます。会議は、核兵器禁止条約を普遍化するために、市民社会と諸国政府が共同して次の行動に踏み出す重要な機会となります。唯一の被爆国である日本政府が核兵器禁止条約に反対していることは、核兵器にしがみついた勢力を助けるものです。思想・信条・立場の違いを超えて、日本政府に核兵器禁止条約への参加をせまらしましょう。「禁止条約参加署名」をひろげて3・1ビキニデー集会(オンライン)に参加しましょう。

2月28日(月) 日本原水協全国集会&3・1ビキニデー特別企画

第1部 日本原水協全国集会 13:00~14:30

主催：原水爆禁止日本協議会

今年の運動の柱となる基調報告、海外代表との交流フォーラムでは、中国封じ込めネットワークを拡大する米、NATO加盟国でありながら、禁止条約締約国会議にオブザーバー参加するドイツ、朝鮮半島の非核化と北東アジアの非核化にとって重要な立場にいる韓国からそれぞれ代表が参加します。また、署名運動、自治体意見書決議のとりくみなど日本の草の根の活動交流をおこないます。

【主なプログラム】

基調報告 安井正和(日本原水協事務局長)

海外代表との交流フォーラム「禁止条約を力に ともに核兵器のない世界へ」

ジョゼフ・ガーソン(アメリカ)、マリオン・キューパー(ドイツ)、イ・ジュンキュ(韓国)、

コーディネーター：土田弥生(日本原水協事務局長次郎)

※全国の参加者からの質問に答えます。

草の根の運動から

みんなであうおう

海外代表紹介



ジョゼフ・ガーソン
(平和・軍縮・共通安全保障
キャンペーン議長/アメリカ)



マリオン・キューパー
(ドイツ平和会/ドイツ)



イ・ジュンキュ
(韓神大大学院-平和政策
研究院上級研究員/韓国)

第2部 3・1 ビキニデー特別企画 14:30~15:30

主催：原水爆禁止世界大会実行委員会、3・1ビキニデー静岡県実行委員会

パネル討論「核兵器禁止・廃絶をリードする日本へ」

「核兵器禁止・廃絶をリードする日本」をめざし、広範で多様な立場の人々・運動から、協力・共同を進展させる場です。参加者のみなさんの質問に答えます。

司会(コーディネーター)：前川史郎(日本原水協担当常任理事)

パネリスト



和田征子
(日本原水協事務局長次郎)



中野晃一
(上智大学教授)



武本匡弘
(プロダイバー/環境活動家)



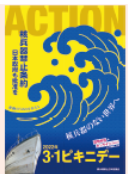
中村涼香
(KNOW NUKES TOKYO 代表)

他に国会議員

2022年3・1パンフレットで学習・参加を 広げましょう

頒価 220円 B5版 16ページ

核兵器をめぐる情勢と変化、日本政府の選択がもたらす危険と日本を変える運動の役割など、この学習パンフを入口に、ビキニデー集会に参加しましょう。



3月1日(火)被災68年2022年3・1 ビキニデー集会

オンライン
(Zoomウェビナー)

被爆とビキニ・太平洋の核実験被害の告発、被害者の援護連帯を

主催 原水爆禁止世界大会実行委員会、3・1ビキニデー静岡県実行委員会

3・1ビキニデー集会の魅力

第1部 13:00~

オープニング うたごえのみなさん

主催者挨拶 石原 洋輔 静岡県原水爆被害者の会会長(静岡県実行委員会)

来賓挨拶 アレクサンダー・クメント大使
(オーストリア外務省軍縮・軍備管理・不拡散局長)

焼津市長、日本被団協

メッセージ紹介、主催者報告

第2部 13:50(予定)~15:30

文化企画

ラテンジャズ
ピアノ(小島太郎)&
フルート(茅原里佳子)の演奏



メイン企画 証言：「原爆、ビキニ核実験被害の現在と救済」



「黒い雨」訴訟の高裁判決
の歴史的意義と今後の課題

竹森 雅泰
(「黒い雨」新証書編纂事務局局長/弁護士)



マーシャルの高い残留放射能
を告発

イヴァナ・ニコリック・ヒューズ
(ロンドン大学上級講師)



太平洋の水爆実験被害の
全体像と今日的な課題

野口 邦和
(世界大会実行委員会運営委員会代表)

長崎原爆被害の報告

朝鮮人被害者の証言

ビキニ水爆被害の報告



アレクサンダー・クメント

●第1部は、オーストリア・ウィーンで開催が予定されている核兵器禁止条約第1回締約国会議で議長を務める同国外務省のアレクサンダー・クメント大使が登場します。禁止条約の締約国会議を目前に、最新の情報と会議にかけける思い、NGOの役割などを直接聞くことができる絶好の機会です。

●第2部は、「原爆、ビキニ核実験被害の現在と救済」をテーマにしたメインの企画です。広島・長崎の被爆から77年、ビキニ被災から68年、被爆・核実験被害に焦点をあて、核兵器の非人道性を告発し、とりくむべき課題と問題点を明らかにします。

メイン企画の証言は、禁止条約締約国会議にメッセージとして届けられます。

2022年は、核兵器廃絶への前進をきりひらく上できわめて重要な年、8月までに核兵器禁止条約第1回締約国会議とNPT再検討会議が予定されている。核兵器廃絶の実現にとってきわめて重要なこの会議に向けて、核保有国とその同盟国において、核兵器禁止条約への支持と参加を求める世論と運動を大きく発展させよう。この人類のたたかひの最大の結集点として原水爆禁止2022年世界大会を成功させよう。7月の参議院選挙で核兵器禁止条約に参加する日本の展望をきりひらこう。

参加希望の方は右へご連絡下さい。
メール、電話、FAXをお願いします。

原水爆禁止長崎県協議会news 2022.2.8 〒850-0035 長崎市元船町5-11-402

TEL 095-895-9106 FAX 095-895-9102

メールアドレス : nagasaki65@forest.ocn.ne.jp 佐藤